

平成29年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



平成29年12月
海老名市立大谷小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 互いの考えを聞きその共通点や相違点を整理しながら話し合うことができます。
- 俳句の情景を捉え、読むことができます。

《努力を要する所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いたり、読みだりすることに課題が見られます。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 話の構成を工夫して話すことができるなど、スピーチメモのよさを捉えることができます。
- 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができます。

《努力を要する所》

- 物語を読み具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題が見られます。
- 自分の考えを広げたり深めたりするための、発言の意図を捉えることに課題が見られます。

これまでの取組から

- 互いの考えを大切にする授業
 - ・文章を理解したり説明したりするときに、自分の考えを持ち互いに聴きあい内容を深めるように指導してきました。その中で、目的や意図に応じて考える大切さが増してきました。

今後の具体的な取組について

- 日常の中で書くことに意欲が持てる場の設定
 - ・新出漢字を丁寧に書いて覚えたり、既習の漢字を意図的に活用し復習したりすることができるよう、今後も指導していきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 乗法の性質や数量関係をよく理解したり、正確に計算したりすることができます。
- 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解しています。
- 正多角形は、合同な二等辺三角形で構成されていることを理解しています。

《努力を要する所》

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算や、商を分数で表すことに課題が見られます。
- 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を判断することに課題が見られます。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 2つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを見出し数学的に表現することができます。
- 示された資料から必要な数量を選び、その求め方と答えを記述できます。
- 日常の問題解決に向けて、目的に適したグラフを選んだり、条件に応じた式を判断したりすることができます。

《努力を要する所》

- 示された割合を解釈し、基準量と比較量の関係を表している図を判断考察することに課題が見られます。

これまでの取組から

- 本校で研究を進めてきた「友だちと協力し合って問題解決を行う」ことや、「これまでの学習を生かして新たな問題に取り組む」ことの積み重ねにより、数学的な思考力が向上してきていると考えられます。
- 情報を整理して筋道を立てて考えたり、言葉・数・式・図・表・グラフ等を用いながら自分の考えをわかりやすく説明したりする力が身につけてきています。

今後の具体的な取組について

- 学習内容の定着を図るため、繰り返しの学習や学習形態の工夫等の指導方法を充実させるとともに、家庭学習の習慣化を低学年から積み上げていくように指導していきます。
- 今後も、児童の学習意欲を持続させ、学習した内容を日常生活においても活用できるような授業の工夫をしていきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 家庭学習の習慣
 - ・ 75%の児童が「家で、自分で計画を立て勉強をしている」と答えています。
- 話し合い、学び合う学習
 - ・ 90%以上の児童が「学級の友達と話し合う活動をよく行っている」と答えています。
 - ・ 85%の児童が「相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えている」と答えています。

《課題と思われる所》

- ・ 「話す」ことに比べ「書く」ことに苦手意識をもっている傾向にあります。

生活について

《よかった所》

- 規範意識
 - ・ 95%の児童が「学校のきまりや友達との約束を守っている」と答えています。
- 自他の尊重
 - ・ 90%の児童が「自分にはよいところがある」と答えています。
 - ・ 90%以上の児童が「人の役に立つ人間になりたい・人が困っているときには進んで助ける」と答えています。

《課題と思われる所》

- ・ 「地域の行事やボランティア活動に参加している」児童が少ない傾向にあります。

これまでの取組から

- 学習や生活において多くののぞましい態度や行動がみられることは、本校児童の大きな特長です。各ご家庭の養育が、大きく影響しているものと考えられます。学校においても、児童一人ひとりを理解し、支援しながらよりよい体験を積み上げていけるように指導・支援に努めていきます。
- 本校では、算数科において友達と学び合う協同学習の研究に取り組んできました。算数科だけでなく、他教科や活動においても自分の意見を伝え、考えの理由を伝える態度の広がりが見られます。

今後の具体的な取組について

- 今後も、思考を伝え合い学び合う活動を通して、主体的に学習活動に取り組む姿勢を育成していきます。
- 学習や行事など様々な活動の中で、友達との関わりを深め高め合えるように工夫し、自分や友達・社会を大切に思う気持ちを育成していきます。
- 地域と学校の関わりについては、総合的な学習の時間や生活科等で、多くの方々のご支援をいただきながら学習を進めています。地域の方々に支えられて生活していることを知り、感謝の気持ちをもてる児童を育成していきます。

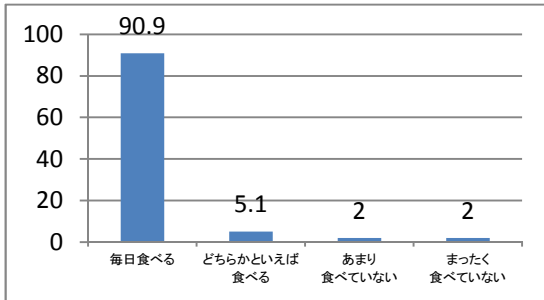
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 しっかりした生活習慣を身につけましょう。

「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけ、しっかりした生活リズムをつくりましょう。

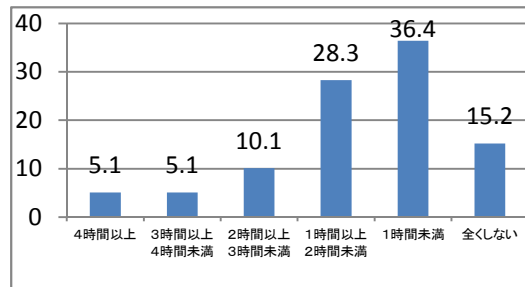
朝食を毎日食べていますか。



2 長時間のテレビやゲームはやめましょう。

テレビを見たり、ゲームをしったりするときは、時間とルールを決めましょう。

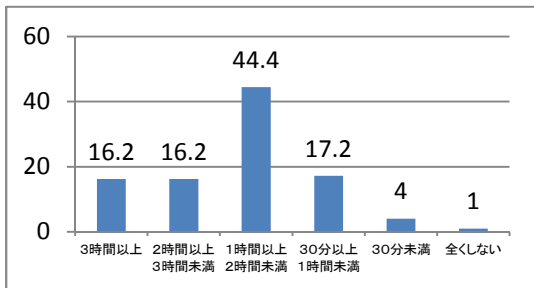
普段一日どれぐらいの時間ゲームをしますか。



3 家庭学習に取り組みましょう。

毎日、一定の時間【めやす:10分×学年】宿題や自主的な学習をする習慣をつけましょう。

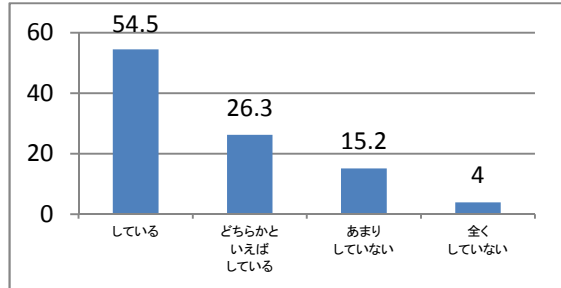
普段一日どれぐらいの時間勉強しますか。



4 コミュニケーションを大切にしましょう。

お子さんとの会話を大切にし、家族の絆を育みましょう。

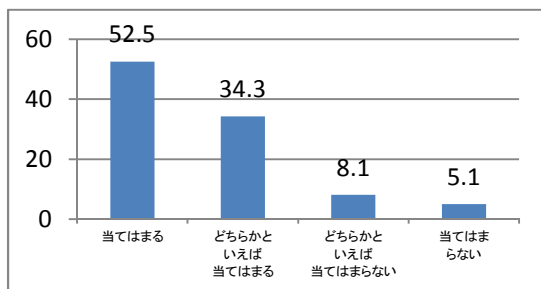
家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか。



5 認めてほめることを大切にしましょう。

自己肯定感を高めることはより良い育ちにつながります。

自分には、よいところがあると思いますか。



6 地域や社会の出来事に関心を持ちましょう。

地域の行事に行くことを勧めたり、家族で足を運ぶなど、積極的に参加しましょう。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

